

一般社団法人WATALIS 令和2年度(2020年度)事業報告書

| | | | |
|-----|---------------|------|---------------------------------|
| 事業名 | コミュニティカフェ運営事業 | 実施期間 | 令和2年(2020年)4月～ 令和3年(2021年)3月 |
|-----|---------------|------|---------------------------------|

事業目標

<目的>
・住民同士の繋がりが希薄化した被災地域において、地域コミュニティを再生し「安全・安心な子育て環境」を創るとともに、「子育て中の母親や高齢者の孤立化防止」のために社会と繋がる場を維持する。

事業内容

①サロン&コミュニティカフェ事業
WATALISの活動拠点は亶理町にあり、手しごとワークショップや各種研修会など地域交流の場として活用されている。交流の環をさらに広げる場として 2016年2月アトリエ&喫茶「中町カフェ」をOPENし、運営を続けている。亶理町の農産物を素材とした菓子類や地域内の女性たちが手づくりしたエチケットマスク等の取扱いも実施し、亶理にちなんだ商品の販売を通じた交流人口の拡大に努めた。

予算

| | |
|------|------------------------|
| 総事業費 | 1,026,064 円 |
| 自己資金 | 1,026,064 円(カフェ売上、借入等) |

人員体制

| | | |
|-------|--------|--------------------------------|
| ・代表理事 | 引地 恵 | 事業全体の取りまとめ |
| ・理事 | 菊地 喜久江 | カフェ事業の企画・運営に関すること |
| ・理事 | 高橋 由紀 | 広報(チラシ製作・配布、HPやSNSでの告知等)に関すること |

一般社団法人WATALIS 令和2年度(2020年度)事業報告書

| | | | |
|-----|---|------|---------------------------------|
| 事業名 | 2020年度被災地域及び被災者受入地域における支援拠点、ネットワークづくり活動 | 実施期間 | 令和2年(2020年)4月～ 令和3年(2021年)3月 |
|-----|---|------|---------------------------------|

事業目標

- ・学びと交流の場としてのコミュニティサロンやイベントへの参加により、地域住民間のネットワークを構築・強化する。
- ・被災地域の中で世代を越えて人との繋がりや心の触れ合いを感じながら、互いに見守りあう有機的な人的ネットワークを構築する。
- ・地域への愛着を醸成し、郷土への関心や愛着を高める。
- ・高齢者や子育て中の母親という社会的弱者が、被災地の中で安心安全に暮らすための知識や情報を得る。
- ・これらを通して長期化する被災地の復興に地域の仲間とともに取り組んでいくという意識を醸成する。

事業内容

①コミュニティサロンの開設、運営事業

・告知ポスター・チラシの作成・送付

5月中旬～ 告知ポスター、チラシ制作依頼(榎本デザイン事務所)

6月24日 告知ポスター、チラシ納品□

7月1日～ 告知ポスター貼付、告知チラシの送付(60件)□

□

・SNSでの告知・発信□

Facebook・Twitterでイベントの告知(1ヶ月前イベント作成/前日告知)・イベント開催後の報告

HPでJKA補助事業の開催案内、ワークショップ開催レポートを随時更新

その際、競輪の補助金による事業であることを明記し、周知に努めた。

□

・コミュニティサロンの開設・運営(平日4時間程度 月20日間)

コミュニティサロン利用者数 延べ1,200名□

□

・心を癒すハンドメイドワークショップ □

講師: Positive-Sky 八柳真紀氏 長瀬佳奈子氏

2020年 7月 8日 フラワーアレンジメント「夏」

参加者数: 午前の部 6名 午後の部 6名 計12名

2020年 7月22日 フラワーアレンジメント「夏」

参加者数: 午前の部 6名 午後の部 6名 計12名

2020年 8月 5日 フラワーアレンジメント「和」実施

参加者数: 午前の部 6名 午後の部 6名 計12名

2020年 8月19日 フラワーアレンジメント「和」実施

参加者数: 午前の部 5名 午後の部 6名 計11名

2020年 9月 2日 フラワーアレンジメント「洋」実施

参加者数: 午前の部 5名 午後の部 5名 計10名

2020年 9月16日 フラワーアレンジメント「洋」実施

参加者数: 午前の部 5名 午後の部 6名 計11名

2020年10月 7日 フラワーアレンジメント「秋」実施

参加者数: 午前の部 6名 午後の部 6名 計12名

2020年10月21日 フラワーアレンジメント「秋」実施

参加者数: 午前の部 5名 午後の部 6名 計11名

2020年11月11日 フラワーアレンジメント「クリスマス」実施

参加者数: 午前の部 6名 午後の部 6名 計12名

2020年11月25日 フラワーアレンジメント「クリスマス」実施

参加者数: 午前の部 6名 午後の部 6名 計12名

・昔の暮らし手しごと伝承ワークショップ

講師: ハンドメイドクリエイター 太田 めぐみ氏

内容: 絹の着物地を使った花のモチーフ作り。

2020年12月 9日 つまみ細工 丸つまみ(花びら5枚)

参加者数: 6名

2021年 1月13日 つまみ細工 丸つまみ(花びら5枚)

参加者数: 6名

2021年 2月10日 つまみ細工 剣つまみ(花びら8枚)

参加者数:6名
2021年 3月10日 つまみ細工 剣つまみ(花びら8枚)
参加者数:6名

・事業報告書 地域に人の環を創る 広げようコミュニティの環『復興支援型コミュニティサロン事業』の作成、送付

被災地域の中で世代を超えた人との繋がりがや心の触れ合いを感じながら、互いに見守りあう人的ネットワークを構築するために実施してきたワークショップの事業内容、心の癒しとなるフラワーアレンジメントや養蚕や手しごとなどの地域の歴史や文化を学ぶものづくりワークショップの実施内容や参加者等の感想をまとめ、編集・印刷を行った。

※毎回、ポスターを掲示し、JKA補助事業の一環として開催している旨の立看板(A4サイズ)を設置。さらに口頭でも告知を行った。

※地元コミュニティ誌や復興庁「新しい東北」官民連携推進協議会HP等の掲載により、広域的に周知した。

※ワークショップ・イベントの詳細は、当団体HPに開催レポートとして随時更新した。

URI : <http://watalis.iimdo.com/ika補助事業/>を参照。

予算

| | |
|-------------|--------------------|
| 総事業費 | 3,368,843 円 |
| 2020年度助成金 | 2,881,032 円 |
| 自己資金 | 487,811 円 |

人員体制

- ・代表理事 引地 恵 助成事業全体の取りまとめ
- ・理事 菊地 喜久江 ワークショップ企画・運営に関すること
- ・理事 高橋 由紀 広報(チラシ製作・配布、HPやSNSでの告知等)に関すること

・パート 2名<ワークショップ準備、補助、チラシ発送準備等事務処理(1名) / ワークショップ補助、準備、後片付け、来客対応(1名)>

一般社団法人WATALIS 令和2年度(2020年度)事業報告書

| | | | |
|-----|----------------------------|------|----------------------------------|
| 事業名 | 令和2年度「住民力・地域力・福祉力を高める支援事業」 | 実施期間 | 令和2年(2020年)12月～ 令和3年(2021年)1月 |
|-----|----------------------------|------|----------------------------------|

事業目標

東日本大震災の被害を受けた地域の中で、被災地域住民が互いに支えあう力を生み出し、主体的に自立と復興を目指す意識を高める事

- ①住民間の“心の触れ合い”を取り戻す。
- ②世代間交流と地域文化伝承の機会創出。
- ③災害に備える行動の明確化と仲間と共に取り組むための支援。

事業内容

住民間の“心の触れ合い”を取り戻し、世代間交流と地域文化伝承の機会の創出、災害に備える行動の明確化と仲間と共に取り組むための支援を目的として、災害時の備えに関する情報交換のための茶話会と防災グッズを手作りするワークショップを開催し、集いと仲間づくりの場を提供した。

心を繋ぐ手しごとワークショップ

防災グッズ作り～いざという時、洗剤がなくても洗えるエコたわしを作ります～

【いちごのエコたわし】

令和2年12月23日(水)13:00～15:00 参加人数:6名

【小物入れになるエコたわし】

令和3年01月20日(水)13:00～15:00 参加人数:6名

東日本大震災から9年経過し、その後も大きな被害をもたらす自信や自然災害が日本各地で発生し、自然災害の増加を実感している人が増えている一方、被災地であっても防災意識の薄れを感じている人もいる。このような地域の状況を踏まえて、昨年度に引き続き宮城県共同募金会の支援を受け、防災グッズ作りのワークショップを開催した。

ワークショップを通して改めて防災についての備えの大切さを実感した。

さらに、今年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外出自粛の機会が多くなり、地元高齢者からは、「一人である時間が多く、このように集まる場があることがうれしい」「今後もぜひこうした事業を続けてほしい」などの声が多く聞かれた。

同じ地域に暮らす住民同士に、新たな交流が生まれ人間関係がさらに豊かになった様子が伺えた。世代間交流の場としての茶話会・ワークショップ参加により、地域住民間のネットワークを構築・強化することができた。

今後の課題としては、事業運営を支える助成金交付元が宮城県共同募金会であることを継続して告知していくことで、地域住民へ本事業の趣旨を広く周知することである。

予算

総事業費

51,733 円

令和2年度助成金

40,000 円

自己資金

11,733 円

人員体制

| | | |
|-------|--------|--------------------------------|
| ・代表理事 | 引地 恵 | 助成事業全体の取りまとめ |
| ・理事 | 菊地 喜久江 | ワークショップ企画・運営に関すること |
| ・理事 | 高橋 由紀 | 広報(チラシ製作・配布、HPやSNSでの告知等)に関すること |

一般社団法人WATALIS 令和2年度(2020年度)事業報告書

| | | | |
|-----|--|------|-------------------|
| 事業名 | 一般財団法人 YS市庭コミュニティー財団助成金 コミュニティの環を広げよう～暮らしと食文化伝承ワークショップ～ | 実施期間 | 令和2年(2020年)9月～12月 |
|-----|--|------|-------------------|

| | |
|------|--|
| 事業目標 | <p>①被災地域住民が主体となって企画、運営する学びと交流の場や高齢者の生きがい創りの場創り</p> <p>②食文化を伝承する機会の創出</p> |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 事業内容 | <p>①事業・活動の内容</p> <p>地域の高齢者からの聞き取りや食文化を紹介する書籍等で作り方を学び、地元の食材を活用した地域の伝統的な郷土料理や昔のおやつ作りを体験。また、ワークショップ期間中「昔の暮らし紹介コーナー」において、郷土の昔の暮らしや食文化を紹介した書籍などを紹介。高齢者等から貴重な話を聞くことで世代間交流を促し、新たなコミュニティの場創りとなった。</p> <p>『コミュニティの環を広げよう～暮らしと食文化伝承ワークショップ～』</p> <p>【昔の暮らしを語る会】</p> <p>①【茄子炒り】</p> <p>第1回: 令和2年10月15日(木)13:00～15:00 参加者:6名 第2回: 令和2年10月22日(木)13:00～15:00 参加者:5名</p> <p>②【こくず(こくじ)】</p> <p>第3回: 令和2年11月12日(木)13:00～15:00 参加者:6名 第4回: 令和2年11月19日(木)13:00～15:00 参加者:6名</p> <p>③【焼餅】</p> <p>第5回: 令和2年12月03日(木)13:00～15:00 参加者:6名 第6回: 令和2年12月10日(木)13:00～15:00 参加者:6名</p> <p>④【昔の暮らし紹介コーナー】</p> <p>ワークショップ期間中、地域の昔の暮らしや食文化を紹介した書籍などを常設で置き、希望者がいけば閲覧可能とした。また、石臼(市販品)や昭和初期の巾着袋、平成初期の巾着袋を展示。かつて養蚕が盛んであった亙理町の昔の暮らしや、郷土料理の話について情報交換する姿があった。同じ地域に暮らす住民同士に世代を超えた新たな交流が生まれ新たなコミュニティの場創りとなった。</p> <p>②事業・活動の成果</p> <p>参加者からアンケートをとったところ、80%の方がとても満足、20%の方が満足と答えた。ワークショップ参加時には写真撮影等に協力してくれた参加者だが、後日「コロナ禍の中、出歩いていたと思われたくない。写真掲載は控えてほしい」という声もあった。アンケートの結果を活かし今後のワークショップ等の運営能力やサービスの品質向上に努めていく。</p> |
|------|--|

| | |
|-----------|-----------|
| 予算 | |
| 総事業費 | 202,562 円 |
| 2019年度助成金 | 200,000 円 |
| 自己資金 | 2,562 円 |

| | | |
|-------|--------|--------------------------------|
| 人員体制 | | |
| ・代表理事 | 引地 恵 | 助成事業全体の取りまとめ |
| ・理事 | 菊地 喜久江 | ワークショップ企画・運営に関すること |
| ・理事 | 高橋 由紀 | 広報(チラシ製作・配布、HPやSNSでの告知等)に関すること |

一般社団法人WATALIS 令和2年度(2020年度)事業報告書

| | | | |
|-----|------------------------|------|-------------------|
| 事業名 | 2019年度 公益信託 オオバまちづくり基金 | 実施期間 | 令和2年(2020年)4月～12月 |
|-----|------------------------|------|-------------------|

事業目標

- ①地域コミュニティの再構築
- ②地域の歴史・文化伝承の機会創出
- ③高齢者の孤立化防止と生きがい創り

事業内容

- ①事業・活動の内容
被災地の昔の暮らしに視点をあて、地域の歴史・文化(農業や養蚕、昔の暮らしや遊び、料理や手仕事等)について学び、ものづくりのワークショップを行った。知識や技術を習得することに加え、学びの場で生まれる新しい交流を、高齢者や地元女性たちの生きがい創りにつなげた。事業内容、成果をまとめた事業報告書を作成・配付したほか、当法人のHPにレポートを作成し、掲載。(https://watalis.jimdo.com/オオバまちづくり基金/)
地域の歴史・文化など高齢者や地元女性たちの知見を記録化し、公益信託オオバまちづくり基金により支援いただいた旨も広く周知した。

『被災地の暮らしと文化伝承事業～仲間と共に豊かな心で暮らすために～』

【昔の暮らしを語る会】

①「養蚕」について
2020年8月26日(水)10:00～12:00 参加人数:6名

②「昔遊び」について
2020年9月9日(水)10:00～12:00 参加人数:6名

【被災地の文化伝承事業ワークショップ】

<シルクの着物地で作るミニガマグチ>

- ①2020年09月23日(水)10:00～12:00 参加人数:6名
②2020年09月23日(水)13:00～15:00 参加人数:6名
③2020年10月28日(水)10:00～12:00 参加人数:6名
④2020年10月28日(水)13:00～15:00 参加人数:5名

<懐かしいおもちゃを作るお手玉>

- ①2020年11月28日(水)10:00～12:00 参加人数:6名
②2020年11月28日(水)13:00～15:00 参加人数:6名
③2020年12月16日(水)10:00～12:00 参加人数:6名
④2020年12月16日(水)13:00～15:00 参加人数:6名

②事業・活動の成果

地域の歴史・文化を学ぶことで、私たちが暮らす郷土の身の回りの生活を見つめ直すきっかけとなる活動となった。かつて養蚕が盛んであった巨理町ならではのシルクの着物地を使用したミニガマグチづくりや、昔の遊びであるお手玉づくりなどのワークショップを開催することで、同じ地域に暮らす住民同士に、世代を超えた新たな交流が生まれ人間関係がさらに豊かになった様子が伺えた。参加者からは、「気持ちが明るくなりました。人と話して楽しかったです。」「年配の方のお話が聞いて良かったです。」「集まる場所が少なく人や社会とつながっていられる場所があって嬉しいので、オオバまちづくり基金のおかげで楽しい時間が過ごせてます。」などの声が聞かれた。高齢者や地元女性の記憶や経験を基に地域の歴史文化を掘り起こし、若い世代に継承する機会を提供し、世代間交流を促し、新たなコミュニティの場創りとなった。また、高齢者や地元女性たちの知見を記録化し、事業内容と成果をまとめた事業報告書を作成、配布することで、参加者のみならず広く周知することができた。

予算

| | |
|-------------|------------------|
| 総事業費 | 505,865 円 |
| 2019年度助成金 | 500,000 円 |
| 自己資金 | 5,865 円 |

人員体制

- | | | |
|-------|--------|--------------------------------|
| ・代表理事 | 引地 恵 | 助成事業全体の取りまとめ |
| ・理事 | 菊地 喜久江 | ワークショップ企画・運営に関すること |
| ・理事 | 高橋 由紀 | 広報(チラシ製作・配布、HPやSNSでの告知等)に関すること |